

# 鉄人

「新型コロナウイルス感染症の影響は本格的にはこれから。単に顧客の発注時期がずれているだけであればマイナス影響は短期間にとどまることから、それほど悲観はしていない」と語るのは、日本鑄造の鷺尾勝社長。

▽…同社はコロナ影響を受けて、自動車金型用

## 新しい働き方試行錯誤



鷺尾 勝氏

日本鑄造社長

鑄造品をはじめ一部の分野で受注が大きく落ち込んでいるものの、半導体装置向け市場はコロナの影響が少なく、概ね計画通り推移しており、配置換えによる従業員の有効活用で一時帰休を実施していない。その一方で、在宅勤務を主体とするテレワーク制度を導入しており、感染予防・感染拡大防止に取り組んでいる。

▽…「本社従業員を対象にしている在宅勤務比率は現行3割程度。今後これを高めていくが、対面でのコミュニケーションも重要。感染対策を講じながら、いかにメリハリの効いた業務設計に見直していくかが課題になる」とし、新しい働き方に

もスタートした。「WEB会議システムを活用し、川崎工場で顧客の立ち会い検査を行った。すでに数件実施しており、問題なくスムーズに進んでいる。移動に伴う感染リスクを軽減できるほか、検査時間を比較的自由に設定できる」と顧客からも好評を得ている。

にらんだシステムの開発を検討するなど、試行錯誤する日々が続く。

▽…ウィズコロナ時代、アフターコロナ時代にに向けた新たな試み

▽…「生産性の改善、製造コストの引き下げ、商品品質の向上と、生産量が減っても、やるべきことを着実に実行していく」と強調する鷺尾氏。いかなる環境下に置かれても、カイゼンの歩みを止めない決意を垣間見

(濱)